

島根県

ご縁の国
しまね

島根県の財政

平成25年10月
島根県

運は一瞬、縁は一生。

やっぱ、運より縁でしょう。ご縁の国しまね

目次

島根県のプロフィール	・ ・ ・ ・ 1
------------	-----------

◆島根県財政の状況◆

平成24年度普通会計の決算収支と主な財政指標	・ ・ ・ ・ 3
平成24年度普通会計決算の歳入・歳出	・ ・ ・ ・ 4
歳入決算額の推移	・ ・ ・ ・ 5
歳出規模の推移	・ ・ ・ ・ 6
〔特徴①〕実質公債費比率	・ ・ ・ ・ 7
〔特徴②〕将来負担比率	・ ・ ・ ・ 8
〔特徴③〕実質公債費比率・将来負担比率全国比較	・ ・ ・ ・ 9
〔特徴④〕県債発行額及び公債費	・ ・ ・ ・ 10
〔特徴⑤〕県債残高	・ ・ ・ ・ 11
〔特徴⑥〕県債残高（その2）	・ ・ ・ ・ 12
公営企業（法適用事業）の状況	・ ・ ・ ・ 13
公営企業（法適用事業）の状況（その2）	・ ・ ・ ・ 14
外郭団体の状況	・ ・ ・ ・ 15

◆平成25年度一般会計予算の概要◆

予算規模の推移	・ ・ ・ ・ 16
県債発行額及び公債費の状況	・ ・ ・ ・ 17

◆起債運営について◆

県債資金調達の推移	・ ・ ・ ・ 18
全国型市場公募地方債の発行	・ ・ ・ ・ 19

◆財政改革の取組◆

財政構造改革に向けた取組	・ ・ ・ ・ 20
「財政健全化基本方針」集中改革期間の取組	・ ・ ・ ・ 21
「今後の財政健全化の取組み方針」（24年3月）	・ ・ ・ ・ 22
今後の財政見通し（一般会計ベース）	・ ・ ・ ・ 24

◆活力ある島根へ！！

「活力ある島根」の実現に向けた施策の推進	・ ・ ・ ・ 27
----------------------	------------

問い合わせ先	・ ・ ・ ・ 29
--------	------------

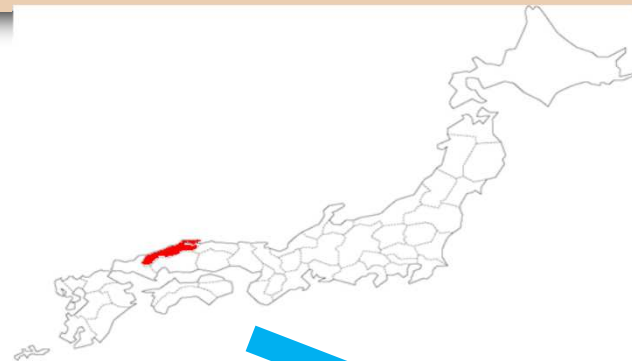
島根県のプロフィール

●人口 717千人【全国第46位（H22国勢調査）】

- ・合計特殊出生率は 1.68 で全国第2位（H24）

●面積 6,708 km²【全国第19位】

- ・東西に長く、特に海岸線は 1,000km以上
- ・隠岐の島、宍道湖・中海などの豊かな自然

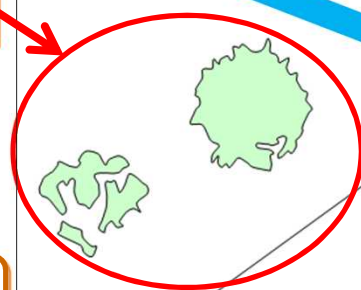


平成25年9月9日
隠岐ジオパーク世界認定！



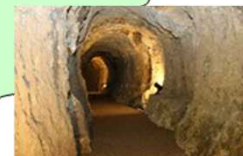
隠岐世界ジオパーク

「世界ジオパーク」
世界的に貴重な地質・地形であって、考古学的・生態学的もしくは文化的な価値を有する地域



「出雲大社」

- ・H25年は60年に一度の大遷宮
- ・観光客増による県内への経済波及効果は285億円



「石見銀山」

- ・H19年に世界遺産（文化遺産）登録
- ・周囲の自然と一体となった文化的景観を形成

●県内総生産（名目） 2兆3,254億円【全国第45位（H22）】

●1人当たり県民所得 2,310千円【全国第40位（H22）】

島根県のプロフィール

出雲大社：平成の大遷宮の経済波及効果は**285億円**

※過去10年間のNHK大河ドラマの舞台となった各県での平均効果(約200億円)を上回る

【背景】

○歴史的に節目となる年が集中

- ・ 2012年：「古事記編纂1300年」
- ・ 2013年：「出雲大社平成の大遷宮」

○「神々の国しまね」プロジェクト
(島根県主催：2010～2013年度)

○2013年：松江自動車道（尾道松江線）開通

○近年のパワースポットブーム

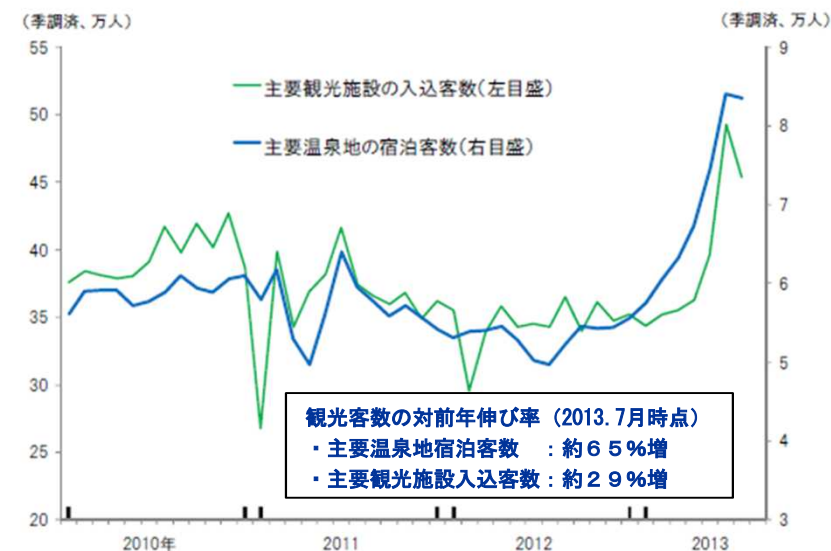
観光客数の増加

○今年の勢いを生かし、今後は、出雲大社にちなんで
「ご縁」をテーマとした観光キャンペーンを展開

運は一瞬、縁は一生。

やっぱ、運より縁でしょう。ご縁の国しまね

(図表1) 島根県の主要温泉地の宿泊客数と主要観光施設の入込客数



(出所) 主要温泉地は、「玉造温泉、松江しんじ湖温泉」を集計。主要観光施設は、「くると松江堀川めぐり、松江城、由志園、足立美術館、清水寺、玉峰山荘、道の駅キララ多伎、島根ワイナリー、三瓶自然館、アクアス、しまねお魚センター、太鼓谷稲成神社、国賀海岸」を集計。集計値に対してX-12-ARIMAによる季節調整を行っている。

日本銀行銀松江支店公表資料(2013. 9. 17)より

島根県財政の状況

運は一瞬、縁は一生。

やっぱ、運より縁でしょう。ご縁の国しまね

24年度普通会計の決算収支と主な財政指標

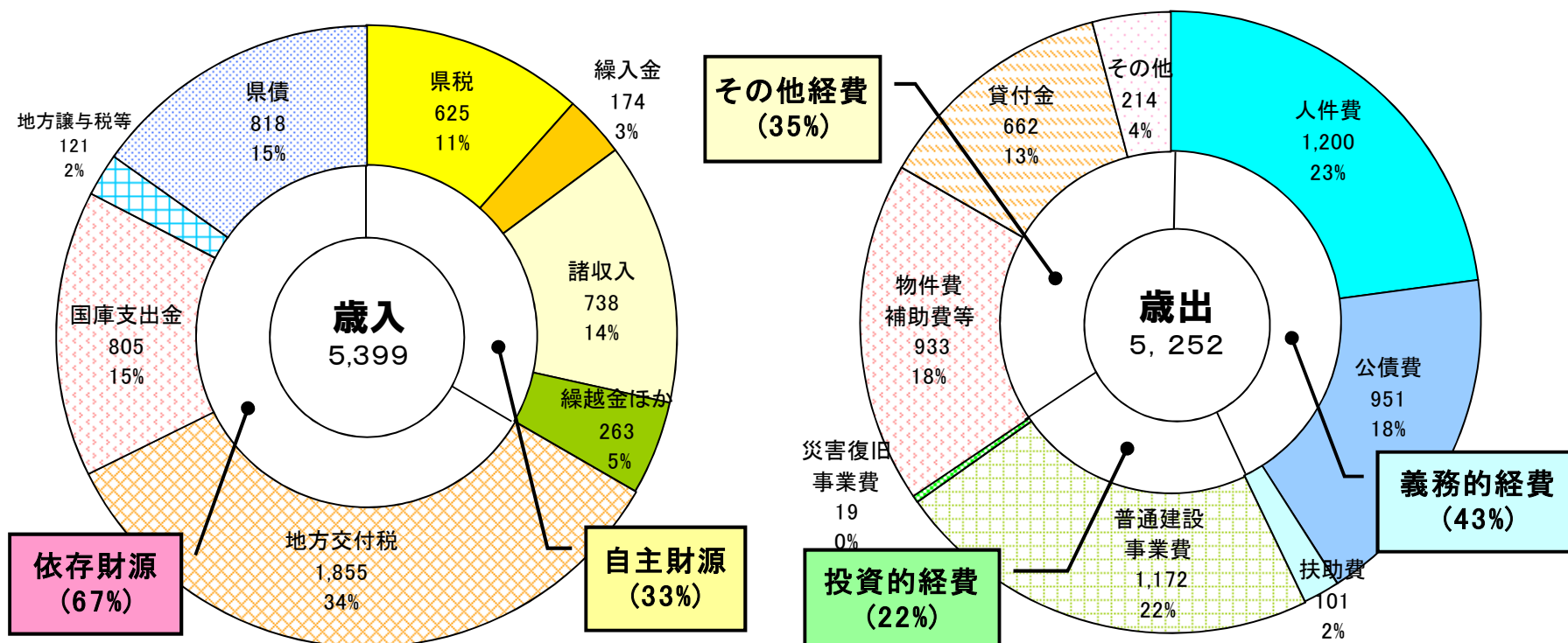
項 目		2 3 年度決算	2 4 年度決算
収 支	歳 入 総 額	5,517億円	5,399億円
	歳 出 総 額	5,356億円	5,252億円
	形 式 収 支	161億円	147億円
	翌年度繰越財源	108億円	99億円
	実 質 収 支	53億円	48億円
	実質単年度収支	84億円	55億円
残 高	県 債 残 高	9,945億円	9,942億円
	基 金 残 高	654億円	598億円
	うち減債・財政調整基金	234億円	219億円
指 標	財 政 力 指 数	0.22923	0.22137
	経常収支比率	89.7%	89.8%
	健全化判断比率		
	実質赤字比率	該当なし	該当なし
	連結実質赤字比率	該当なし	該当なし
	実質公債費比率	16.0%	14.6%
	将来負担比率	183.4%	179.7%

※「基金残高」には減債基金の満期一括勘定分は含んでいない。

24年度普通会計決算の歳入・歳出

実質収支 48 億円＝歳入 5,399 億円－(歳出 5,252 億円＋翌年繰越財源 99 億円)

(単位:億円)

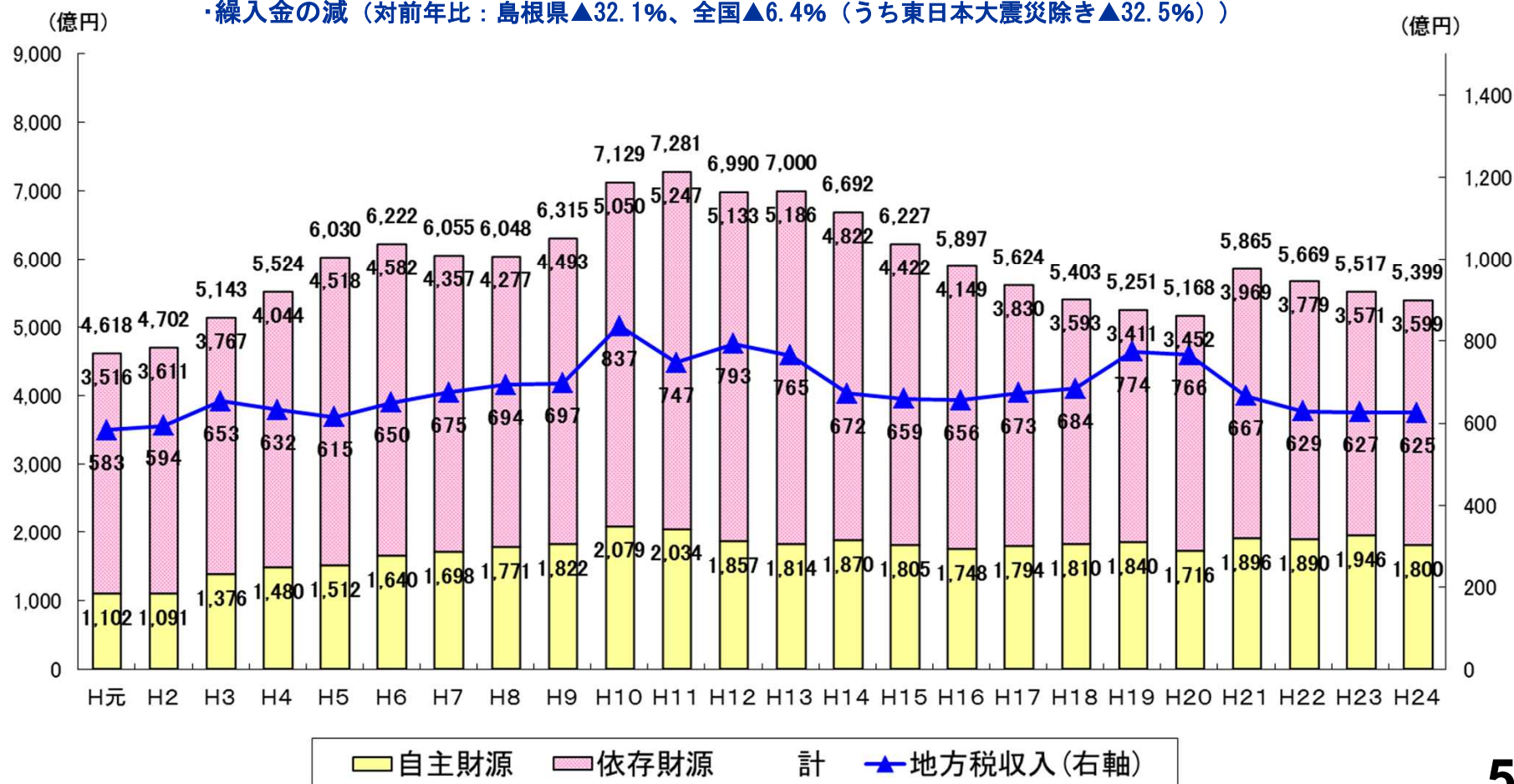


歳入決算額の推移(普通会計決算)

平成24年度は、国の経済対策に関する国庫支出金や同支出金で積立てた基金繰入金の減少等により歳入総額が減少（対前年比：島根県▲2.1%、全国▲2.3%（うち東日本大震災除き▲1.4%））

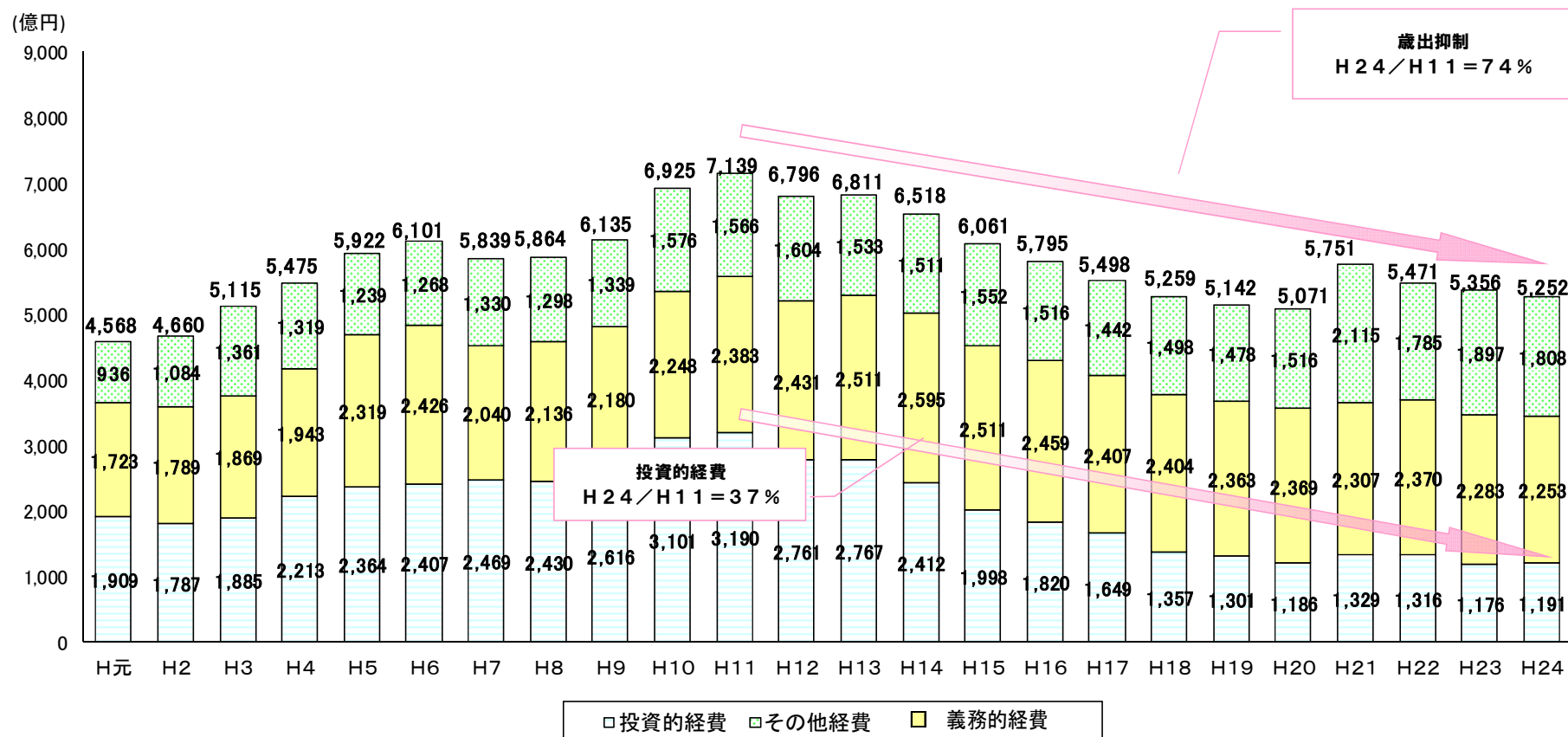
・国庫支出金の減（対前年比：島根県▲6.6%、全国▲15.6%（うち東日本大震災除き▲3.6%））

・繰入金の減（対前年比：島根県▲32.1%、全国▲6.4%（うち東日本大震災除き▲32.5%））



歳出規模の推移(普通会計決算)

- ・平成21年度以降は、国の経済対策の実施により平成20年度比で増加したが、平成11年度の約74%に歳出規模を抑制（全国の対平成11年度比：約91%（東日本大震災除き約86%））
- ・また、投資的経費は平成11年度の1/2以下に削減



[特徴①]実質公債費比率

- ・平成24年度決算においては、3カ年平均（H22～H24）で14.6%
- ・県債発行額の抑制などこれまでの取組により、平成17年度の算定開始以降で最低値
- ・全国順位は20位で、前年度の31位から大きく上昇

区 分	実質公債費比率				早期 健全化 基準	財政 再生 基準
	(3カ年平均)	22年度	23年度	24年度		
実質公債費比率	14.6%	17.6%	13.7%	12.5%	25.0%	35.0%
公債費	12.8%	15.7%	11.9%	10.7%		
公債費に準ずる経費	1.8%	1.9%	1.8%	1.8%		
減債基金積立不足に対する加算	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

- ・なお、島根県では、実質公債費比率の算定における満期一括方式の地方債積立ルール（毎年度の積立額を発行額の30分の1と設定。H24末：約70億円）以上に減債基金への積立（＝前倒し積立：200億円以上）を行っているため、減債基金積立不足は生じていない

[特徴②] 将来負担比率

- ・平成24年度は、全国平均210.5%に対し、島根県は 179.7%（対前年度▲3.7ポイント）
- ・全国順位は12位（前年度：10位）
- ・地方債現在高の標準財政規模に対する倍率は3.6倍となるが、償還に充当可能な基金残高及び基準財政需要額（交付税）算入見込額をふまえた実質的な負担は全国平均を大きく下まわる

（単位：百万円）

項 目			算 定 額	構 成 比
分 子 (A)	将 来 負 担 額	一般会計等の地方債現在高	1,031,503	83.4%
		債務負担行為に基づく支出予定額	11,748	1.0%
		公営企業会計の地方債残高に係る一般会計等負担見込額	28,313	2.3%
		組合等の地方債残高に係る一般会計等負担見込額	4,185	0.3%
		退職手当支給予定額に係る一般会計等負担見込額	133,354	10.8%
		設立法人の負債の額等に係る一般会計等負担見込額	26,958	2.2%
		連結実質赤字額	0	0.0%
		組合等の償還に充当可能な基金	0	0.0%
	小 計		1,236,061	100.0%
	地方債の償還に充当可能な基金		▲ 75,888	
分 母 (B)	地方債の充当可能な特定の歳入		▲ 13,413	
	地方債の償還に係る基準財政需要額算入見込額		▲ 747,010	
	標準財政規模		284,415	
	元利償還金等に係る基準財政需要額算入額		▲ 62,071	

将来負担比率 算定額 (A)/(B) × 100

179.7%

早期健全化基準
400.0%

※「地方債現在高」には、満期一括償還地方債に係る減債基金積立額を含む。

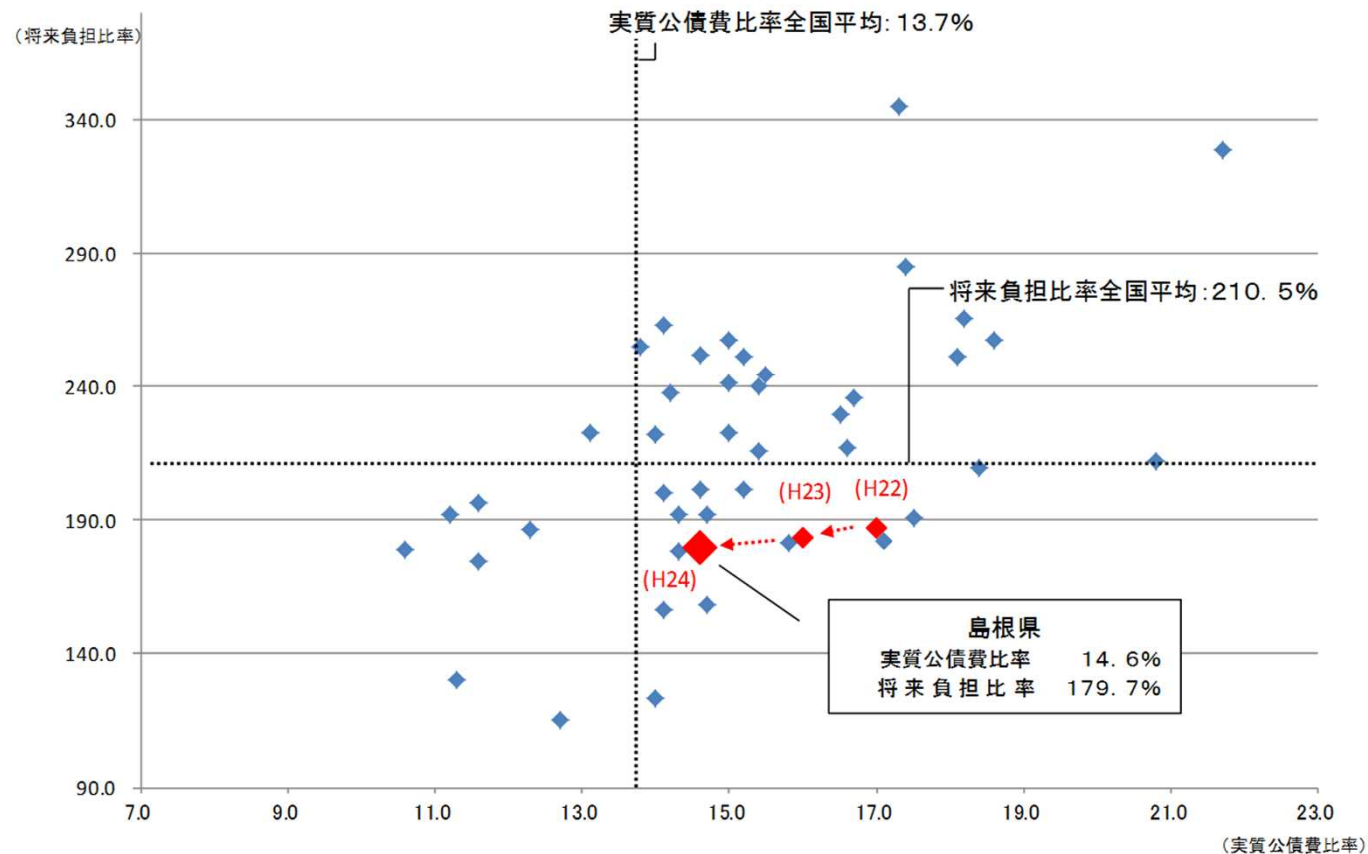
※「地方債への充当可能な基金」には、法令設置のもの、国庫金返還が生じるものなど、一部対象から除かれるものがある。

[特徴③]実質公債費比率・将来負担比率全国比較

- ・ 借換債発行中止の取組により、将来的な負担を軽減

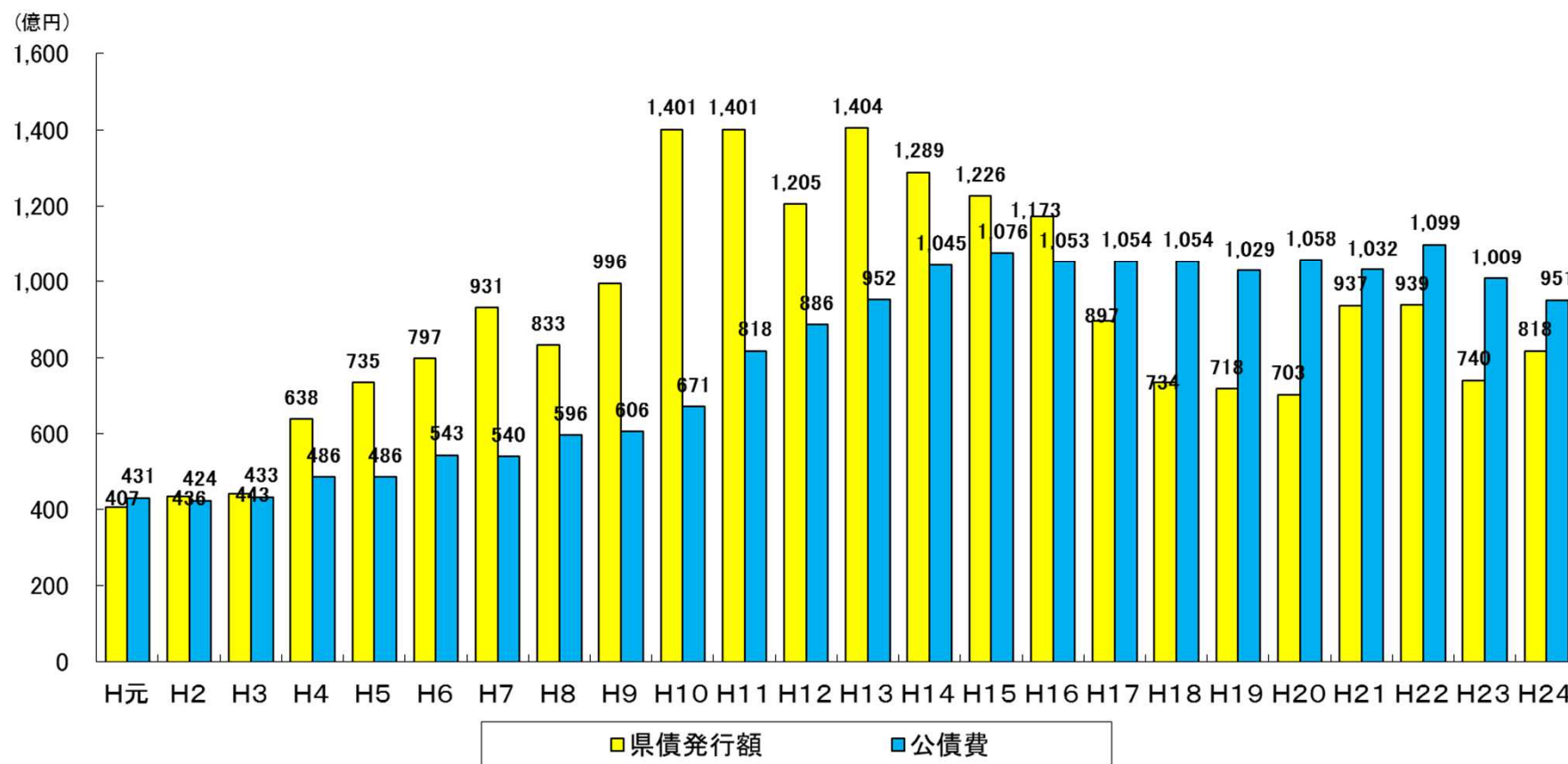
実質公債費比率：17.9% (H17) → 14.6% (H24) 将来負担比率：227.9% (H19) → 179.7% (H24)

実質公債費比率と将来負担比率の散布図(道府県) ※東京都を除く



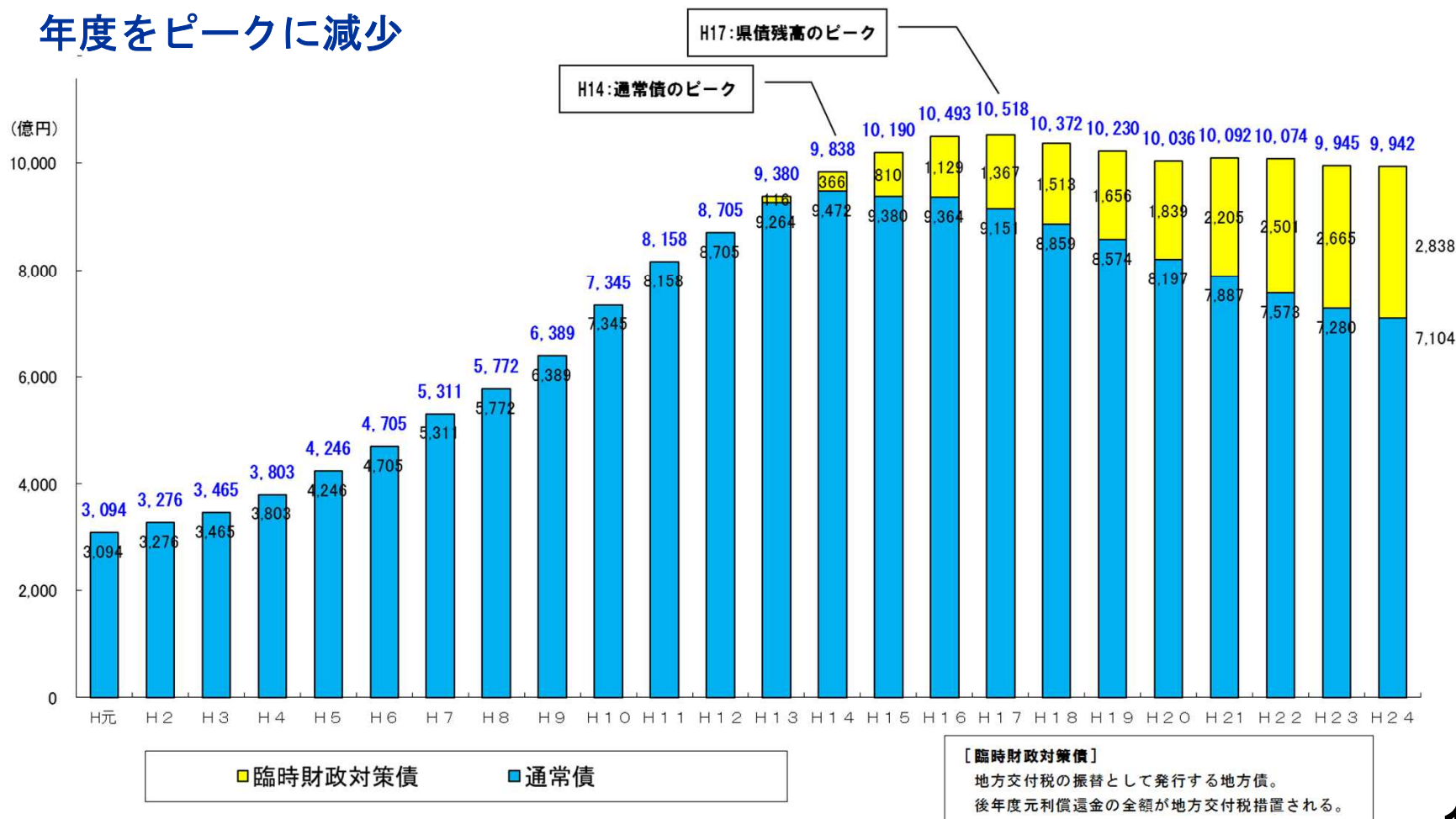
[特徴④] 県債発行額及び公債費

- 平成24年度決算：平成17年度以降8年連続で公債費以下に発行額を抑制
【発行額 818億円 < 公債費951億円（元金821億円、利子130億円）】



[特徴⑤] 県債残高

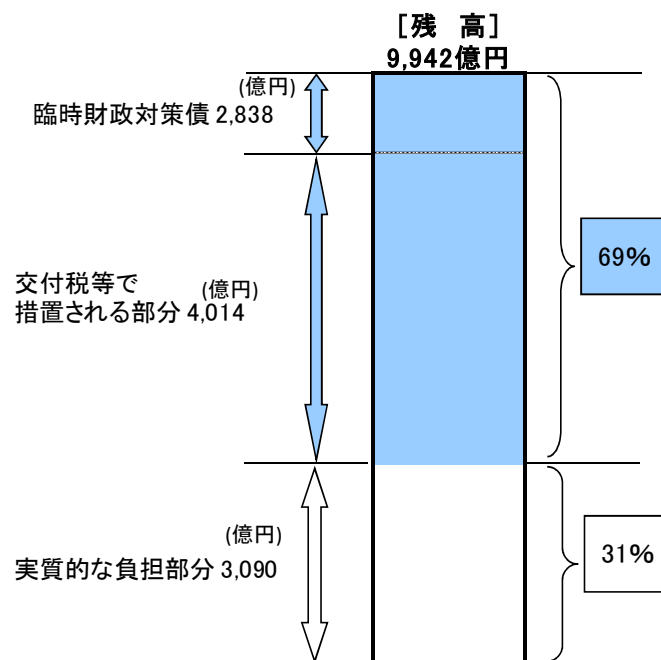
- ・ 普通会計全体の県債残高は、平成 17 年度をピークに減少に転じている
- ・ 地方交付税で100%措置される臨時財政対策債を除いた県債残高は平成 14 年度をピークに減少



[特徴⑥] 県債残高(その2)

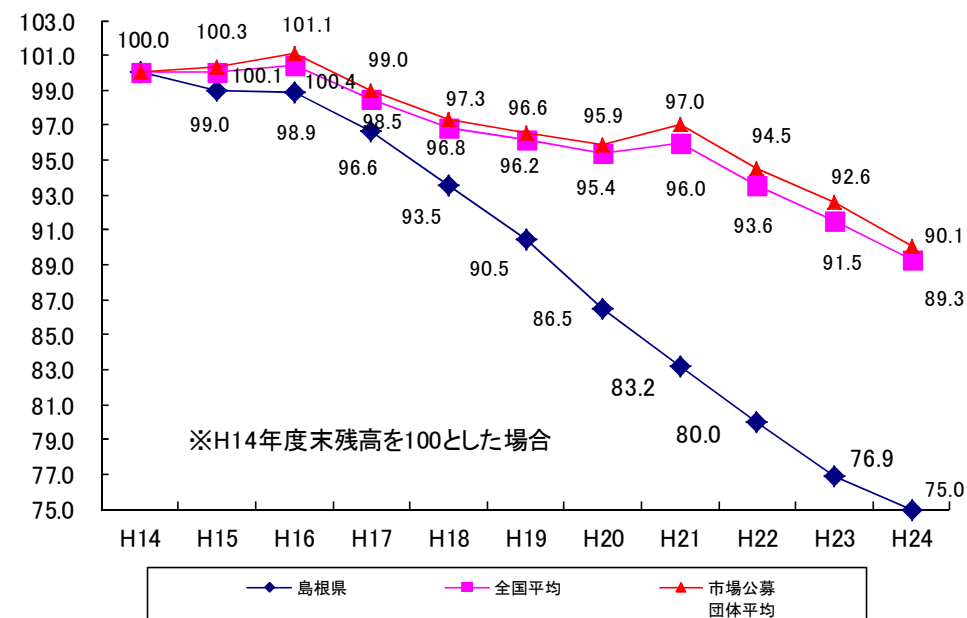
- ・ 県債残高 9,942 億円のうち、実質的な負担部分は 3 割強
- ・ 地方債残高減少率は全国平均以上

■実質的な負担部分は 3 割強



■地方債残高減少率は全国平均以上

(※臨時財政対策債除き、本県試算)



公営企業（法適用事業）の状況

- ・ 電気、工業用水道、水道、宅地造成及び病院事業それぞれ5つの企業会計を設置し運営
- ・ なお、いずれの会計も資金不足は生じていないため、資金不足比率(※)は該当なし

【貸借対照表(24年度決算)】

(単位:百万円)

項 目		電気	工業用水	水道	宅地造成	病院
資産	固定資産	12,021	5,914	46,740	14	32,217
	有形固定資産	10,855	5,907	38,925	0	32,190
	無形固定資産	702	7	7,815		27
	投資	464			14	0
	宅地造成				1,895	
	完成宅地				1,015	
	未成宅地				880	
	流動資産	1,325	209	892	123	12,571
	現金及び預金	1,034	195	731	89	9,334
	未収金	254	13	149	34	3,108
	貯蔵品	37	1	13		129
	繰延勘定					806
	資産合計	13,346	6,123	47,633	2,032	45,594
	固定負債	442	1,706	866	1,670	834
負債	他会計借入金		1,585	471	1,669	
	引当金	442	121	394	2	82
	その他					752
	流動負債	99	10	60	8	2,360
	未払金及び未払費用	97	10	59	8	2,275
	その他	2	0	1		85
	負債合計	541	1,716	925	1,678	3,193
	資本金	9,102	1,001	29,513	304	56,193
	自己資本金	5,319	398	17,324	304	24,800
	借入資本金	3,783	603	12,189		31,393
剰余金	剰余金	3,703	3,406	17,194	51	▲ 13,792
	資本剰余金	3,353	4,053	17,170	30	3,109
	利益剰余金	350	▲ 647	25	20	▲ 16,901
	資本合計	12,805	4,407	46,707	354	42,401

(※)資金不足比率:

資金の不足額／事業の規模

資金の不足額(法適用企業)

流動負債－流動資産

(注)表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げ額と合計が一致しない場合がある。

公営企業（法適用事業）の状況（その2）

【24年度決算の状況】

（単位：百万円）

事業名	区分 概要	収益的収支			資本的収支		
		収入(A)	支出(B)	差引(A-B)	収入(C)	支出(D)	差引(C-D)
電気事業	水力発電所13力所と風力発電所2力所が稼働中	1,827	1,611	216	56	468	▲ 412
工業用水道事業	2地域の立地企業へ供給	191	245	▲ 54	122	1,688	▲ 1,566
水道事業	県内6市に水道用水を供給	1,755	1,730	25	6	813	▲ 807
宅地造成事業	2力所の工業団地造成事業を実施	39	38	1	50	26	24
病院事業	県立2病院を運営 ・県立中央病院：一般病床等 679床 ・県立こころの医療センター：精神病床 242床	20,988	21,759	▲ 771	2,380	3,630	▲ 1,250

外郭団体の状況

- ・「島根県が出資する法人の健全な運営に関する条例」を設置し、各団体の経営評価を実施
- ・各団体の自己評価と県の評価を議会に報告しており、財務情報等の経年分析や団体の方向性等を整理・公表

「島根県が出資する法人の健全な運営に関する条例」に基づき経営評価を行っている団体等の24年度決算の状況

(単位: 百万円)

団 体 名 称	設立 時期	基本財産の額 (H25.3.31現在)	県出資等 割 合	損益計算書(P/L) 正味財産増減計算書			貸借対照表(B/S)			業務概要
				総収益又は 経常・経常外 収益合計	経常利益 (損失)又は 当期正味 財産増加 (減少)額	当期利益 (損失)又は 当期収支差額	資産合計	負債合計	資本合計又は 正味財産	
1 (公財)しまね海洋館	H 9. 4	100	100.0%	547	▲ 63	▲ 63	1,003	126	877	「島根県立しまね海洋館」の管理運営等
2 (公財)ふるさと島根定住財団	H 4. 9	417	100.0%	510	▲ 2	▲ 2	2,247	96	2,151	若年層の県内就職とU・I ターンの促進に関する事業
3 (公財)しまね女性センター	H10.10	112	89.2%	130	0	1	184	12	172	「島根県立男女共同参画センター」の管理運営と男女共同参画の推進等
4 (公財)しまね自然と環境財団	H 3. 7	133	92.5%	416	▲ 4	▲ 4	240	52	188	「島根県立三瓶自然館」ほか自然公園施設の管理運営等
5 (公財)島根県文化振興財団	H 9. 3	200	100.0%	1,057	▲ 20	▲ 20	1,448	248	1,200	「島根県民会館」ほかの管理運営と文化事業の実施等
6 (公財)しまね国際センター	H 1.11	1,288	78.6%	86	▲ 11	▲ 6	1,725	26	1,699	国際交流・国際協力に関する活動の支援等
7 (公財)島根県障害者スポーツ協会	S54. 5	255	78.4%	37	▲ 1	▲ 1	261	3	258	障害者スポーツ競技会の開催および選手の強化・育成等
8 (公財)島根県みどりの担い手育成基金	H 5. 3	1,721	88.4%	34	▲ 21	▲ 21	1,764	43	1,721	林業担い手育成・確保および福利厚生に関する事業等
9 (公社)島根県林業公社	S40. 6	450	50.0%	765	68	▲ 122	83,184	60,149	23,035	分収造林契約等による森林の造成、育成等
10 (一財)くにびきメッセ	H 3. 9	809	63.7%	341	▲ 4	▲ 4	1,243	66	1,177	産業交流施設の管理運営、コンベンションの誘致支援等
11 (公財)しまね産業振興財団	H 11.3	146	100.0%	1,535	▲ 38	▲ 310	3,200	2,497	703	産業構造の高度化、新産業の育成等に関する事業
12 [特]島根県土地開発公社	S48. 4	30	100.0%	768	19	19	15,217	12,796	2,421	公共用地の取得、管理、処分および宅地造成事業等
13 [特]島根県住宅供給公社	S40.12	10	100.0%	1,745	1	3	12,060	7,247	4,813	積立分譲住宅、宅地開発、賃貸住宅事業等
14 (公財)島根県建設技術センター	H 8. 3	100	100.0%	192	▲ 7	▲ 7	542	92	450	建設技術に関する研修事業、リサイクルヤード運営等
15 (公財)島根県暴力追放県民センター	H 4. 5	429	70.0%	19	0	0	442	1	441	暴力団員による不当行為の相談、被害者救援等
16 (公財)島根県環境管理センター	H 4. 3	224	31.2%	679	108	108	4,846	3,273	1,573	産業廃棄物最終処分場の設置、運営等
17 (公財)しまね農業振興公社	S45. 8	229	0.4%	335	▲ 1	▲ 1	3,257	2,472	785	農地保有合理化等、農業構造改善に資する事業

※公営法人会計を適用する団体の収支計算には、土地・建物の購入等固定資産の取得に係る収支費目を含んでいる。

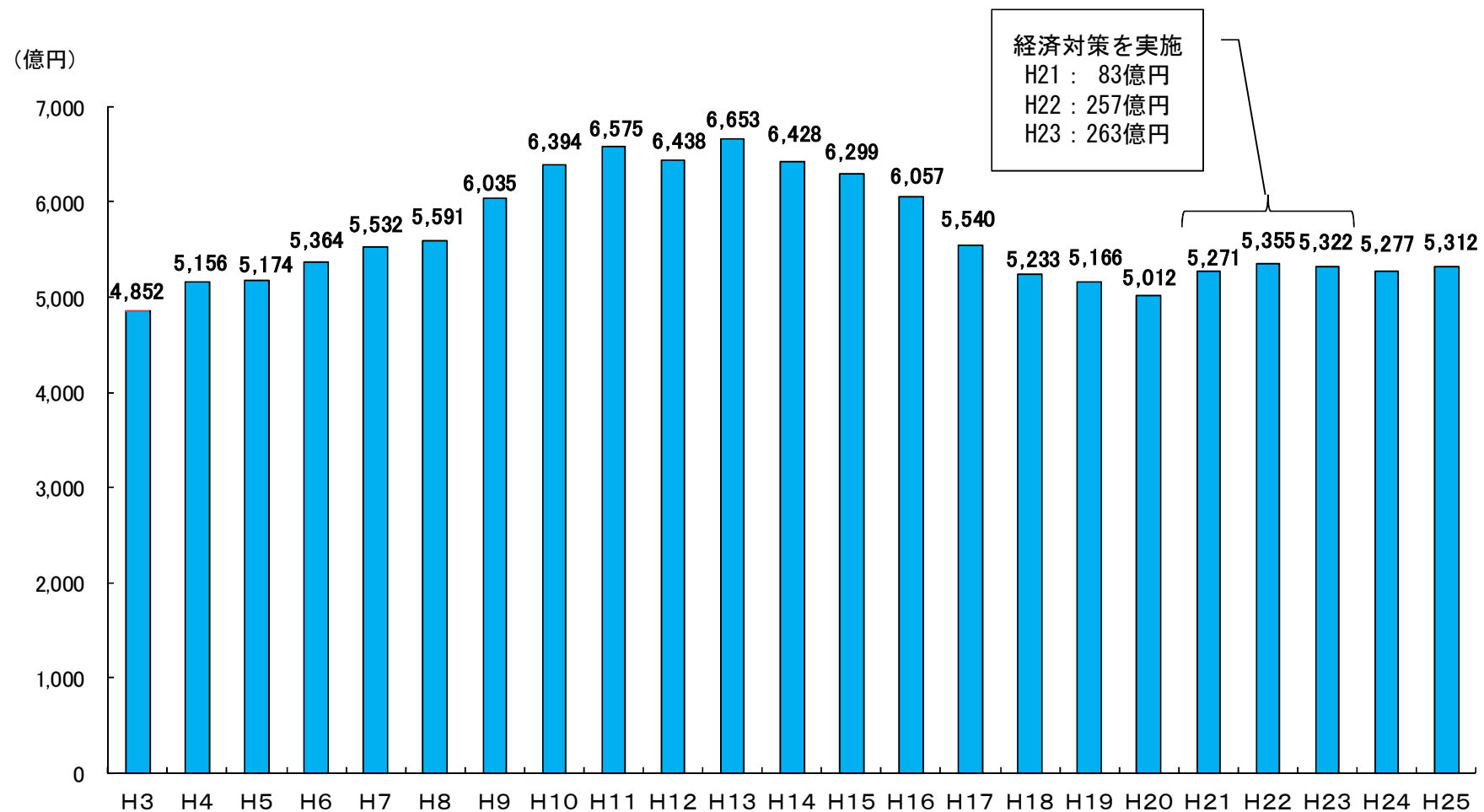
平成25年度一般会計予算の概要

運は一瞬、縁は一生。

やっぱ、運より縁でしょう。ご縁の国しまね

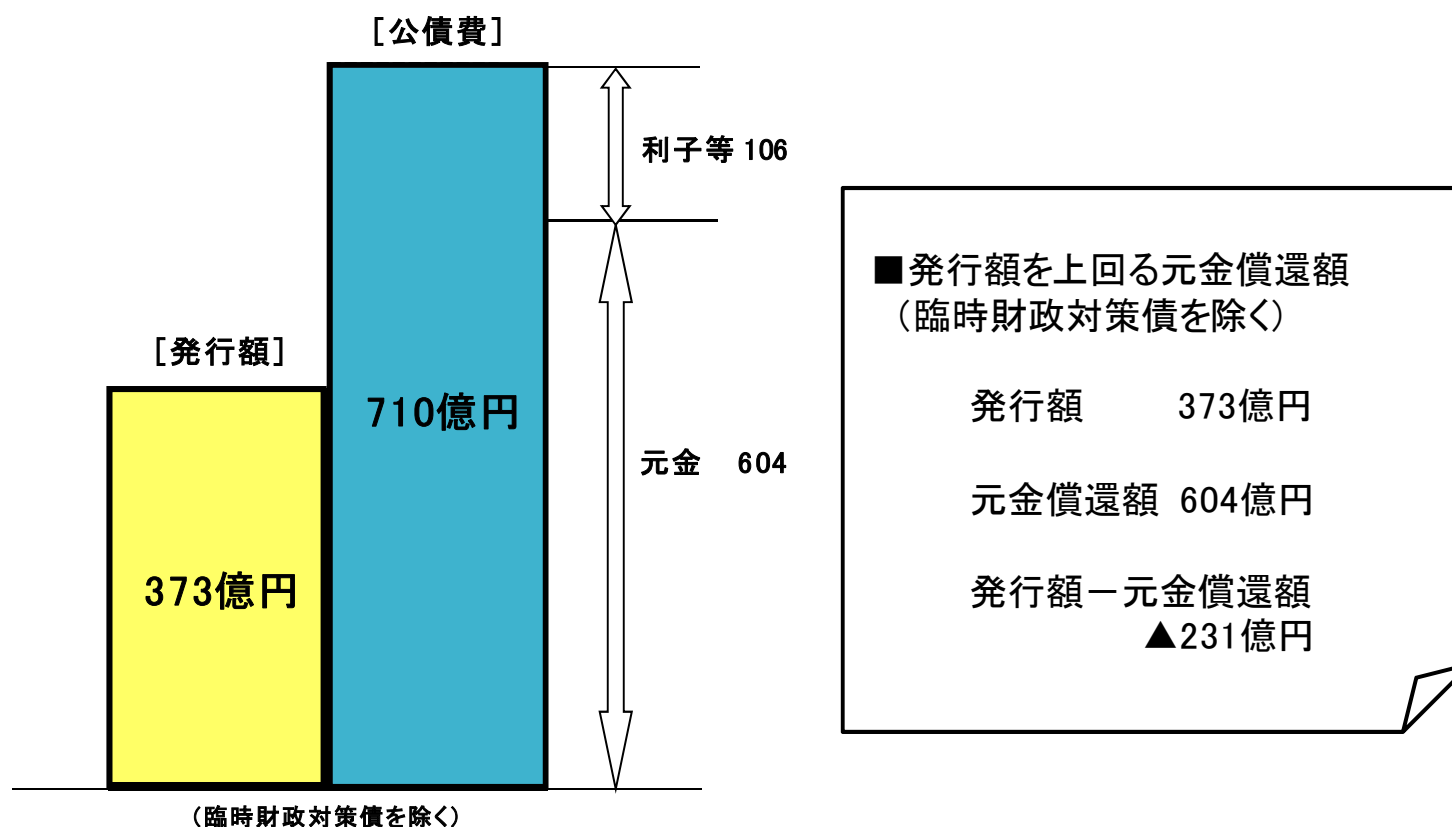
予算規模の推移

- 平成25年度一般会計当初予算 5,312億円（対前年比 +35億円、+0.7%）



県債発行額及び公債費の状況

- ・ 発行額を公債費以下に抑制することにより、プライマリーバランスの黒字化を実現（臨時財政対策債を除く）



- ・ また、財政調整に必要な基金残高を有していることから、行政改革推進債や退職手当債といった、将来の財源を担保とした県債を発行せずに予算編成を実施

起債運営について

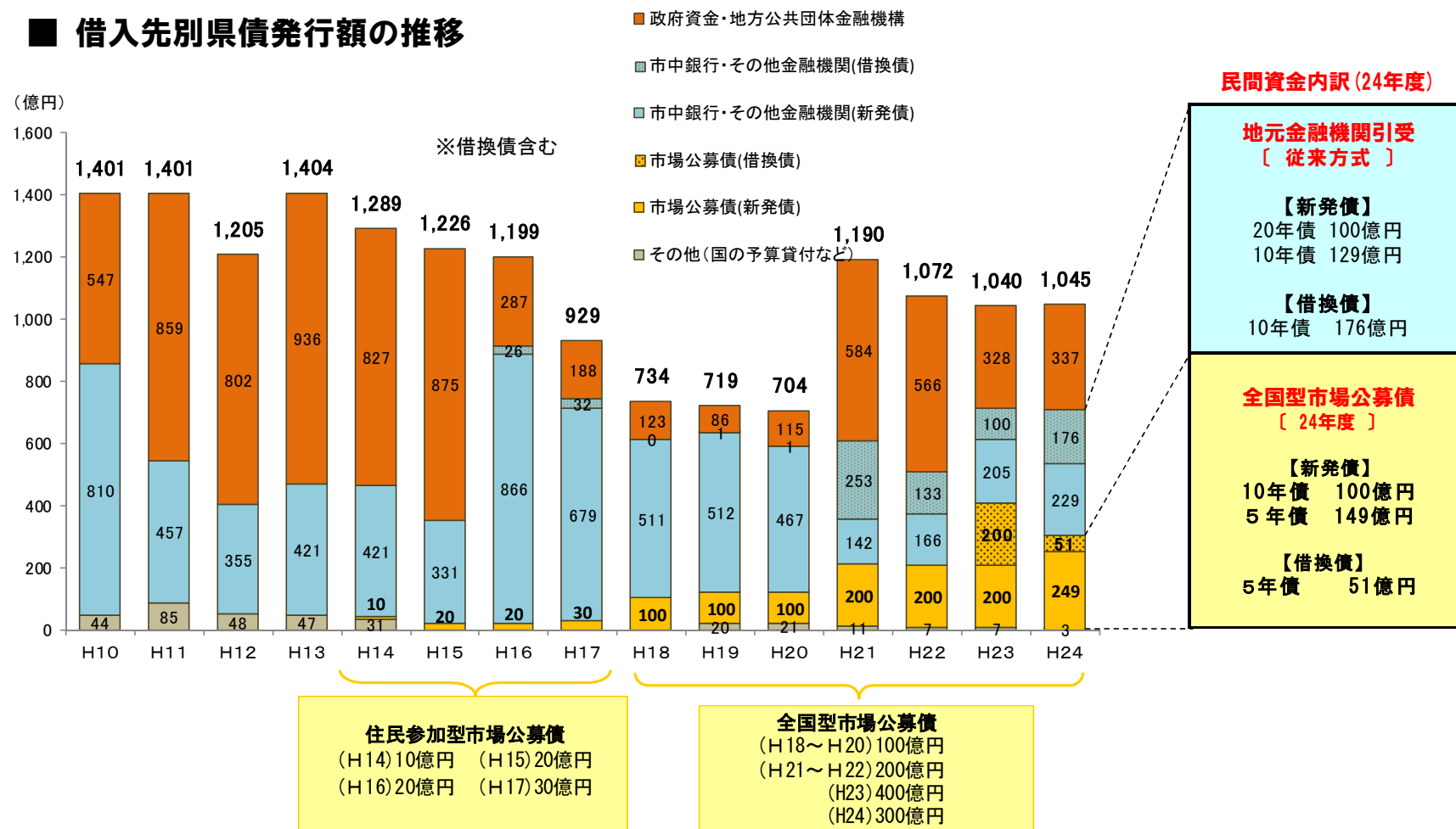
運は一瞬、縁は一生。

やっぱ、運より縁でしょう。ご縁の国しまね

県債資金調達の推移

- ・ 長期的・安定的資金確保のため、平成18年度から全国型市場公募債を導入
- ・ 平成21年度から全国型市場公募債の発行額を増やしており、平成25年度も300億円を発行予定

借入先別県債発行額の推移



全国型市場公募地方債の発行

島根県平成25年度公募公債引受シンジケート団 編成表

銀行団(6)		証券団(13)		発行実績							
				H18~H20	H21	H22	H23		H24		
山陰合同銀行		大和証券		発行額	100億円	200億円	200億円	200億円	200億円	200億円	100億円
みずほ銀行		SMBC日興証券		発行月	11月	11月	11月	11月	3月	11月	3月
新生銀行		野村證券		年 限	5年満期 一括償還	5年満期 一括償還	10年満期 一括償還	5年:100億 10年:100億 一括償還	5年満期 一括償還	5年:100億 10年:100億 一括償還	5年満期 一括償還
三井住友銀行		みずほ証券		形 態	シ団引受 方式	シ団引受 方式	シ団引受 方式	シ団引受 方式	シ団引受 方式	シ団引受 方式	シ団引受 方式
島根県信用農業協同組合連合会		東海東京証券									
日本海信用金庫		三菱UFJモルガン・スタンレー証券									
		岩井コスモ証券									
		岡三証券									
		モルガン・スタンレーMUFG証券									
		あおぞら証券									
		SMBCフレンド証券									
		ゴールドマン・サックス証券									
		丸三証券									

H25 発行計画		
発行額	200億円	100億円
発行月	11月	3月
年 限	5年:100億 10年:100億 一括償還	5年満期 一括償還
形 態	シ団引受 方式	シ団引受 方式

財政改革の取組

運は一瞬、縁は一生。

やっぱ、運より縁でしょう。ご縁の国しまね

財政構造改革に向けた取組

◆「財政健全化指針」（平成14年12月策定）

- 計画期間 平成15～17年度

◆「中期財政改革基本方針」（平成16年10月策定）

- 計画期間 平成16～18年度

<改革の成果＝収支改善額 309億円>

- ・ 行政の効率化・スリム化 100億円 … 総人件費の抑制、内部管理経費の縮減 など
- ・ 事務事業の見直し・削減 149億円 … 公共事業費の縮減 など
- ・ 財源の確保など 60億円 … 新たな地方税の導入、執行段階での節減 など

◆「財政健全化基本方針」（平成19年10月策定）

- 計画期間 平成20～29年度（うち集中改革期間 平成20～23年度）

◆「今後の財政健全化の取組み方針」（平成24年3月策定）

- 計画期間 平成24～29年度（うち経過監視期間 平成24～25年度）
- 構造的収支不足 200億円台後半のうち、200億円程度を解消
- 集中改革期間後も定員削減の計画的な実施などにより更に収支の改善を図り、概ね10年後において、130億円程度の基金を確保した上で収支均衡を達成

「財政健全化基本方針」集中改革期間の取組

集中改革期間（平成20～23年度）の最終年度の財政健全化の取組実績

◆平成23年度の収支改善目標：200億円程度 → 実績：214億円

① 行政の効率化・スリム化 [収支改善目標：90億円程度→実績：73億円]

- 総人件費の抑制、組織の見直し . . . 職員定員削減、給与カットの継続
- 外郭団体・公の施設の見直し . . . 団体のスリム化、施設の廃止・譲渡など
- 内部管理経費の縮減 など

② 事務事業の見直し [収支改善目標：50億円程度→実績：60億円]

- 公共事業費の縮減 . . . 19年度予算比▲30%まで削減
- 一般的な施策経費 . . . 19年度予算比▲50%まで削減
- 施設の維持管理経費など経常的な経費 . . . 19年度予算比▲10%まで削減
- その他、義務的な経費、任意性の高い経費を問わず、徹底した歳出の削減を実施

③ 財源の確保 [収支改善目標：70億円程度→実績：81億円]

- 県税収入の確保（課税自主権の活用）
. . . 水と緑の森づくり税、産業廃棄物減量税、核燃料税 など
- 県有財産の売却や有効活用の促進 . . . 未利用財産の売却、特定目的基金の活用など
- 執行段階での徹底した節減による確保 など

「今後の財政健全化の取組み方針」(24年3月)

- ・ 平成20年度から平成23年度までの集中改革期間の取組み実績を土台とし、
- ・ 平成24・25年度の2か年間で、今後の県の財政運営を見極めるための「経過監視期間」として位置づけ、国の動向等に注視しながら財政健全化に取り組む

◆経過監視期間における具体的取組

〔平成25年度の収支改善目標：80億円程度 → 見込：81億円〕

① 行政の効率化・スリム化 〔平成25年度の取組み目安 5億円〕

○ 内部管理事務改革の実施

- ・ 平成23年度に総務事務センターを設置し経理事務や旅費事務の集中処理化を実施
今後も給与事務をはじめとした事務処理の効率化を図る

○ 総人件費の抑制

- ・ 職員定数の削減
平成14年度を起点として平成29年度に1,500人程度の削減
- ・ 給与の縮減
知事：給与の20%減額、副知事：給与の15%減額、一般職：管理職手当の10～12.5%減額

○ 組織等の見直し、内部管理経費の見直し、公の施設等の見直し など

「今後の財政健全化の取組み方針」(24年3月)

② 事務事業の見直し

〔平成25年度の取組み目安 5億円〕

○ 特別な需要に基づく経費

- ・ 年度間変動の大きい建物の改修や設備の更新などについて個別に見直しを実施

○ 義務的な経費

- ・ 義務的な経費について個別に内容の再点検や見直しを実施
- ・ 企業会計・特別会計について事業毎に合理化・効率化を図り一般会計負担のあり方を検討
- ・ 新規県債の発行抑制や繰上償還の実施などにより公債費を抑制

○ その他

- ・ 新たな施設の建設事業については原則行わない

③ 財源の確保

〔平成25年度の取組みの目安 70億円〕

○ 県税収入の確保（課税自主権の活用）

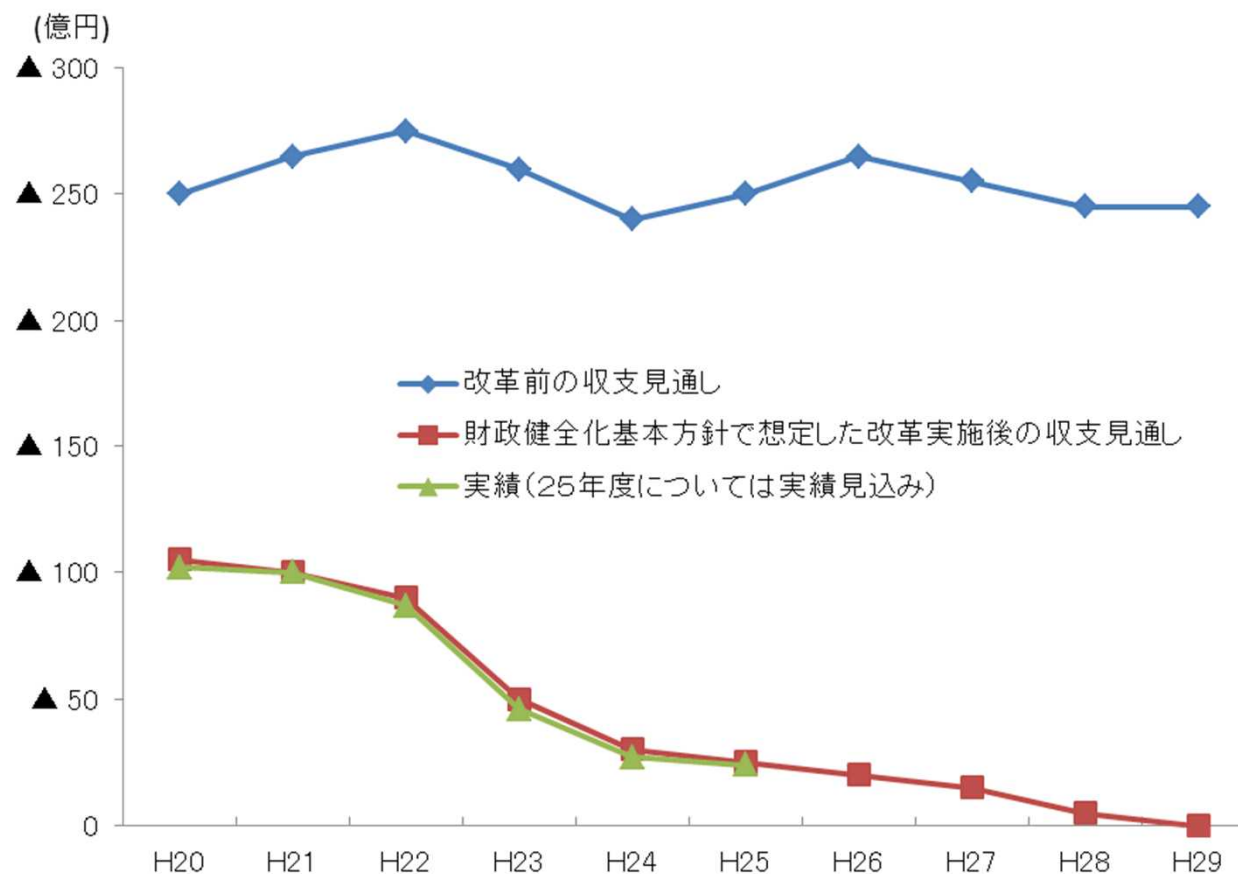
○ 執行節減等決算段階での財源の確保

- ・ 執行段階での徹底した節減や予算を上回る歳入の確保

○ 県有財産の売却や有効活用の促進 など

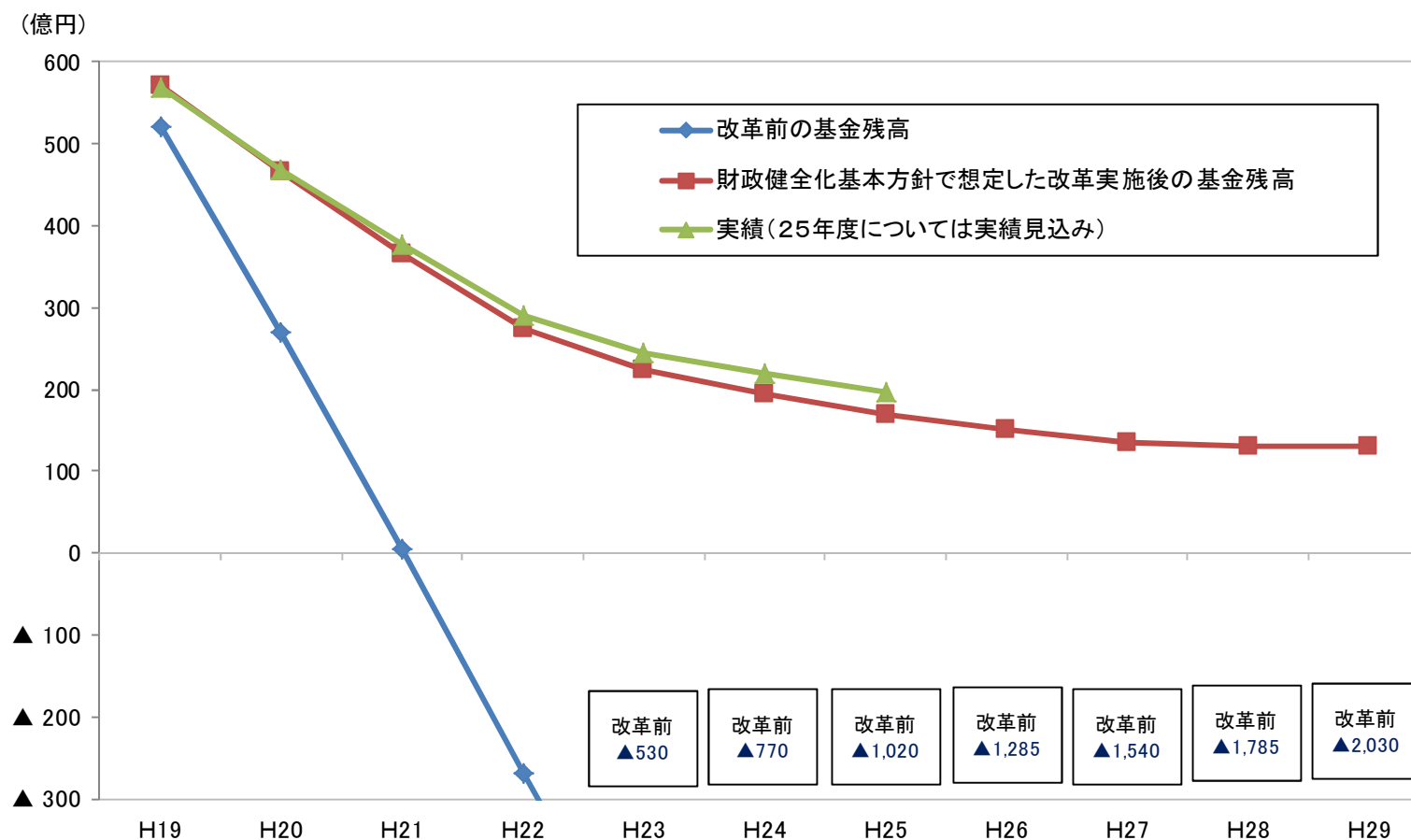
今後の財政見通し(一般会計ベース)〔収支見込額〕

「財政健全化基本方針」に基づく取組により、収支は平成29年度に均衡
平成24～25年度は「今後の財政健全化の取組み方針」に沿った改革を実施



今後の財政見通し(一般会計ベース)〔年度末基金残高〕

一定程度の規模の基金を確保しつつ改革を推進



今後の財政見通し(一般会計ベース)〔公債費・地方債残高〕

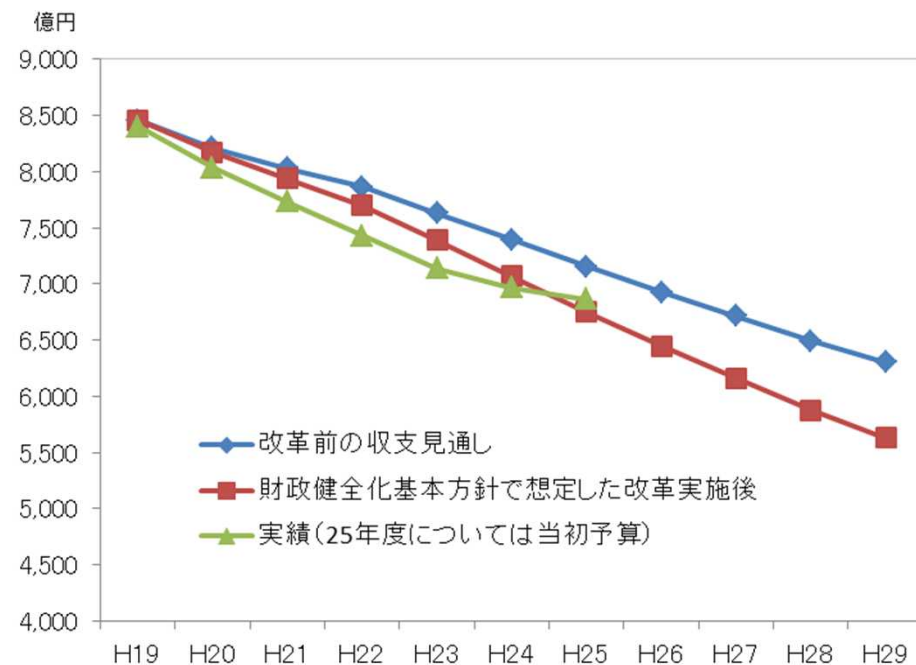
- ・ 公共事業の縮減など、健全化に向けた取組により、地方債については新規分の発行をできる限り抑制
※平成25年度は、昨年度末に実施された国の経済対策等の影響により、想定をやや上回る
- ・ また、繰上償還の実施等により後年度負担を軽減を図っている
- ・ これらの取組により臨時財政対策債を除く通常債の公債費・地方債残高は着実に縮小する見込み

公債費の推計(臨財債除き)

(単位:億円)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
改革前の収支見通し	876	811	801	813	810	790
財政健全化基本方針で想定した改革実施後	876	810	799	810	802	778
実績(25年度については当初予算)	959	891	850	768	734	710

地方債残高の推計(臨財債除き)



島根県

ご縁の国
しまね

活力ある島根へ！！

運は一瞬、縁は一生。

やっぱ、運より縁でしょう。ご縁の国しまね

「活力ある島根」の実現に向けた施策の推進

- ・ 財政健全化へ向けた取組を強力に推進する一方、「活力ある島根」の実現に向けて、安全・安心な県民生活や県の将来的な発展などのために真に必要な施策については、重点的に予算を配分

重点配分した主な事業

① ものづくり・IT産業の振興

ものづくり産業の生産力・受注力強化緊急対策事業 2.1億円(対前年 皆 増)
 ・グローバル競争への対応や国内成長産業への参入に向け生産力・受注力を強化するための設備導入を支援

しまねIT産業振興事業～Rubyを軸にした産業振興～ 1.5億円(対前年 同 額)
 ・県内企業のRubyを活用した先駆的なシステム開発や自社固有の製品・サービスの開発、顧客企業と一体となった新ビジネスモデル開発を支援

- 「Ruby」とは、島根県松江市在住のまつもとゆきひろ氏が開発したプログラミング言語、日本発のプログラミング言語としては初めて、平成24年4月に国際規格(ISO)に承認
- 国内でもRubyを利用したシステム開発案件が大幅に増加
 【実績例-「楽天」の「My Rakuten」、「クックパッド」の「レシピ検索サイト」など多数】
- 将来の島根県のIT産業を支える人材を育成するため、本年度から中高生Ruby教室を開催
- 首都圏の即戦力IT人材を確保するため、昨年度から東京でUターン就職を応援する交流会を開催

Ruby合宿開催

- 大学、高等専門学校、高等学校の学生等を対象に、Rubyを学ぶ5日間の合宿形式の講座
- Rubyの技術習得を図るとともに、学生に対して県内ソフトIT企業の情報を提供し、県内就職機会を広げる



活力ある島根へ！！～本県の特徴ある事業展開～



② 自然が育む資源を生かした産業の振興、観光の振興

将来の農林水産業を支える新ブランド産品創出・県産品販路拡大事業 1.5億円(対前年+0.1億円)
・主力園芸作物(ブドウ・メロン等)や未活用魚などを利用した新産品の開発や大規模消費地への販売促進活動を支援

- 島根には豊かな自然により育まれる良質な農林水産物が多数存在
- 官民一体となってこれらの県産農林水産物に磨きをかけるとともに(ブランド化)、将来を見据えた新産品の研究開発を実施

しまね県産品ブランド化重点産品

- 隠岐のいわがき、浜田のアジ・カレイ・ボダグロ、十六島(うぶるい)のり、多伎(たき)のいちじく、しまね和牛

販路・消費拡大

- 消費者ニーズに合わせた商品づくりや島根フェアの開催等による情報発信、展示商談会への出店支援、インターネットでの販売支援



隠岐のいわがき

“神々”と“ご縁”観光総合対策事業 4.9億円(対前年+1.8億円)
・平成25年は出雲大社の60年に一度の大遷宮であり、県・市町村・民間団体等が一体となり観光誘客事業を実施

- 島根は、古くからの歴史・文化や、豊かな自然、落ち着いた地域社会が今も残る観光地
- 平成24年は「古事記」編さん1300年、平成25年は出雲大社の60年に一度の大遷宮であり、島根の魅力を広く情報発信し、観光誘客を促進
- 県、市町村、民間団体、県民の皆さんが一体となってプロジェクトを推進

「神々の国しまね」プロジェクトの構成

- ふるさとの魅力の再発見
- 「神々の国しまね」のイメージを全国へ広げるための情報発信
- 感動を与えるような地域の魅力づくりと、おもてなしの向上
- 神話博しまねや、県内各地で様々な誘客イベントの開催

ご縁の国しまね

- 「神々の国しまね」プロジェクトの成果を継続し、切れ目ない誘客を促進するために、「ご縁」をキーワードとした観光キャンペーンを展開



出雲大社



問い合わせ先

■ 島根県総務部財政課予算第三グループ

〒690-8501 松江市殿町1番地

TEL 0852-22-5036 / FAX 0852-22-6264

e-mail zaisei@pref.shimane.lg.jp

■ ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/zaisei/>